



# Active Learning City Tsubetsu

## 津別町における中高一貫校導入の提案

北海道大学 公共政策大学院

横田淳一郎 吉田匡克

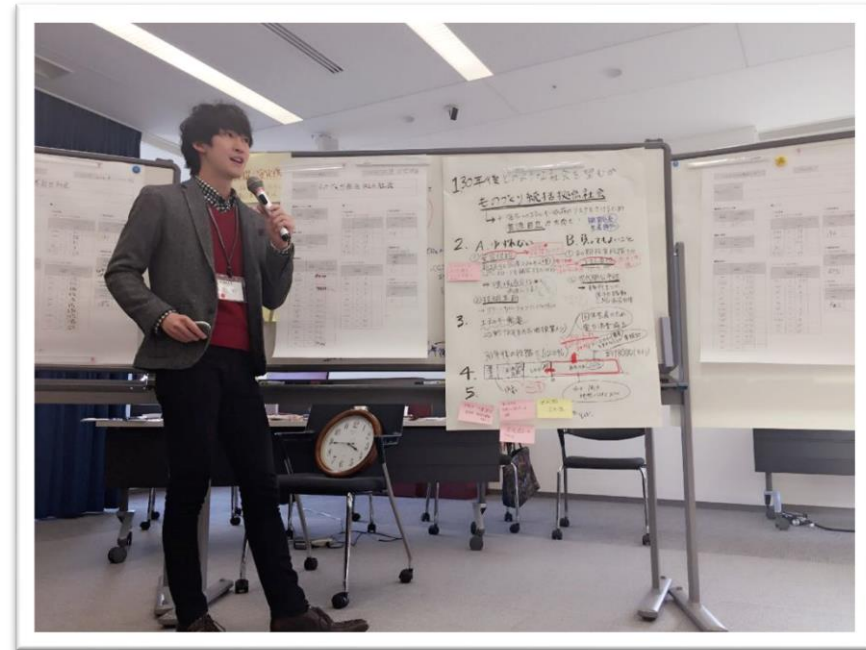




# 自己紹介

# 吉田 匡克

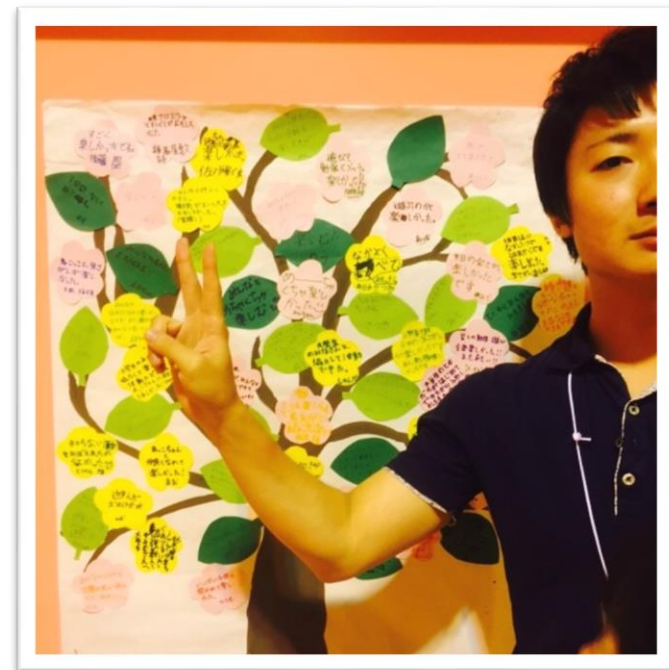
- ・1993年1月31日(23歳)
- ・北海道大学 公共政策大学院 修士課程1年
- ・北海道札幌市
- ・興味関心は地方創生、エネルギー政策



大学院で学んでいることを  
一つでも形にしてみたかった

# 横田 淳一郎

- ・1992年11月18日(23歳)
- ・北海道大学 公共政策大学院 修士課程1年
- ・山形県鶴岡市
- ・興味関心は地方創生、市町村合併政策



今まで行ってきた活動が、  
今回の提案に役立つと感じたから

# Presentation Agenda

- ① 地方創生に対する姿勢
- ② 津別町の現状
- ③ 教育ボランティアについて
- ④ Active Learning City Tsubetsu 構想概要
- ⑤ 中高一貫校設立に向けて
- ⑥ 導入考察

# 地方創生に対する姿勢

現状を捉えながら、悲観的になりすぎない

# 今の地方創生のキーワード

人口減少社会

消滅可能性  
自治体

増田レポート

少子高齢化

**現状をしっかりと認識  
できているだろうか？**



# 地方創生に対しあまりに 悲観的になってはいないか？



# 津別の現状は？

一戸あたりの経営耕地面積  
16.7ha→**26.2ha**

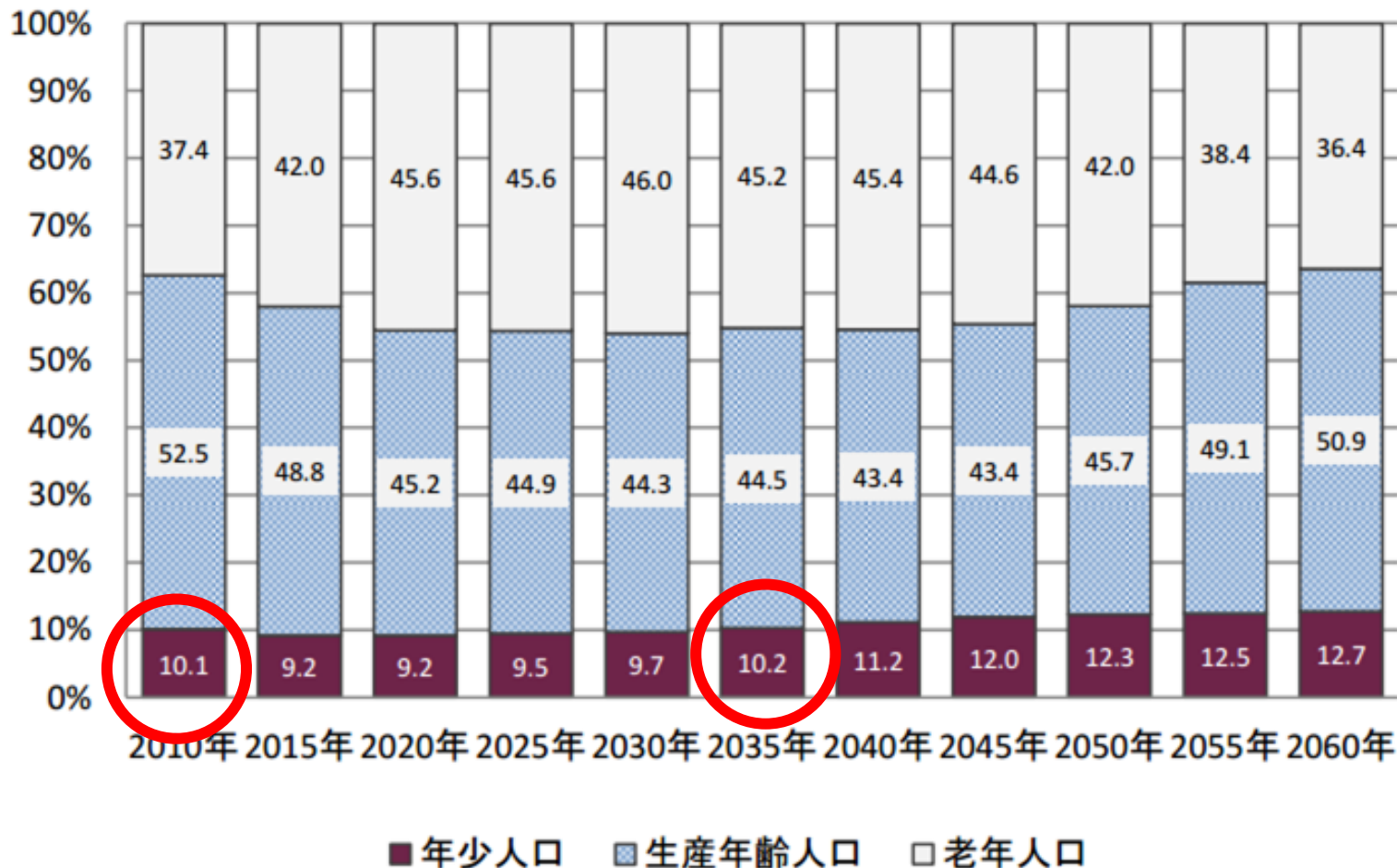
林業総収入は  
2005年に比べ増えている

合計特殊出生率 1.51  
(札幌市 1.08)

津別町の現状に対して悲観的になり過ぎないことが大事

## 津別町独自推計の年齢3区分別人口推移

出典：津別市総合戦略 H27 10月



**年少人口の割合は2035年に2010年の水準を回復する**

図表 農家戸数と農業人口の推移  
(出典) 農作物作付動向調査

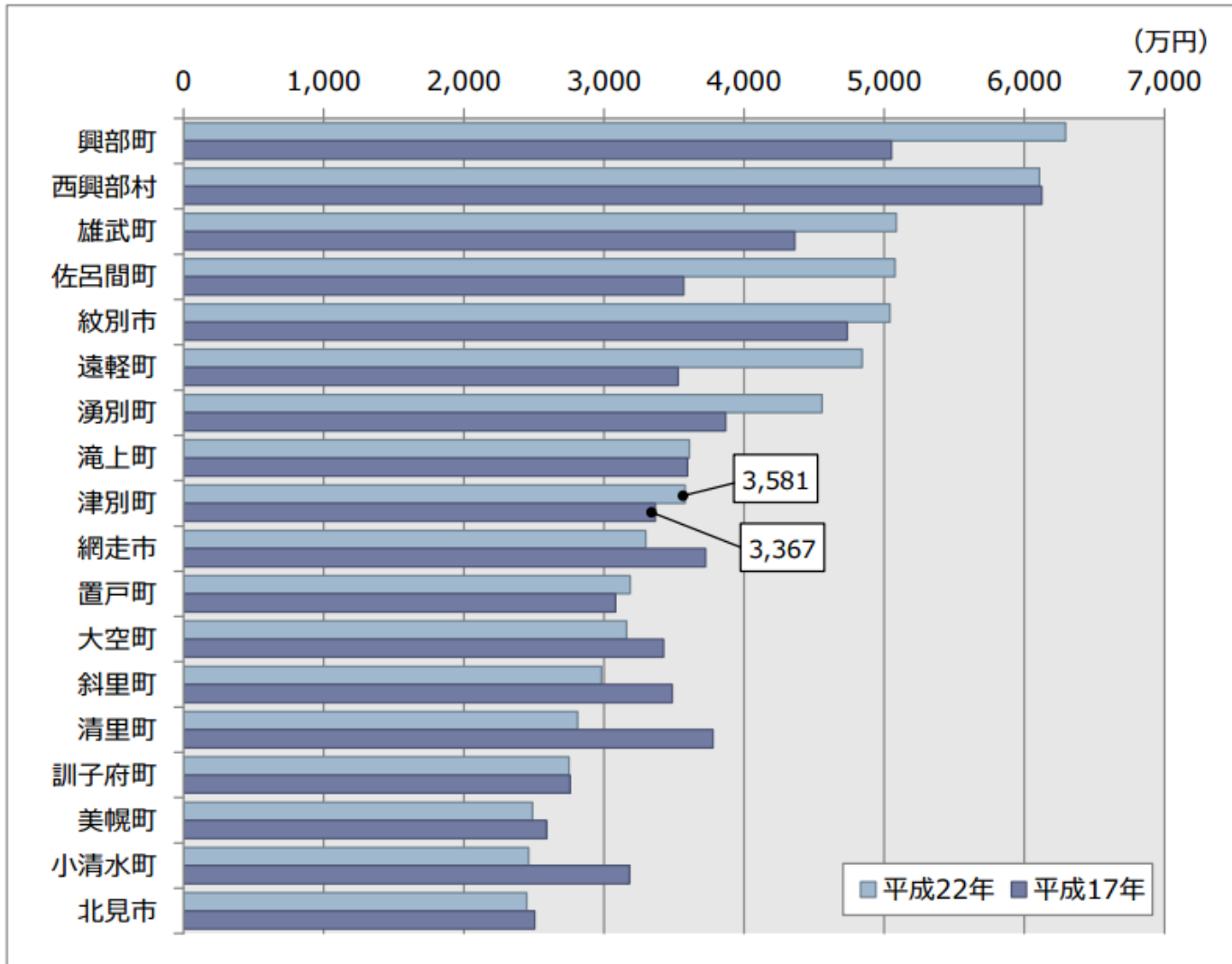
出典:津別町 自治体概況参考資料



図表 経営体あたり農業販売金額(平成22年の販売金額の高位順)

(出典)農林水産省「農林業センサス」

出典:津別町 自治体概況参考資料



# 提案の着想を得るまで

- **合計特殊出生率から、将来的に若い世代が生まれる**
- **基幹産業が存在している**
- **スポーツ合宿地として、外部の人の受け入れのノウハウを持っている**
- **横田が実際に似たような活動をしてきている**

# 教育ボランティア

- **道北猿払村において、小中学生を対象に行っている活動**
- **札幌の大学生が参加し、オリジナルの体験活動や学習会を展開している**
- **一週間ほど現地に宿泊し、活動を行う**

# 教育ボランティア沿革

第1回 2014年2月 参加学生5名

第2回 2014年8月 参加学生10名

第3回 2015年8月 参加学生12名

第4回 2016年2月 参加学生**14**名



参加者  
の増加



# 教育ボランティア概要

## 学生による企画・運営

- ・イベントの企画・運営
- ・日程調整
- ・教材の用意 など

行政の負担軽減

学生の企画・運営力の強化

## 村による学生支援

- ・既存の宿舎の利用
- ・交通費支給
- ・活動期間中の生活支援 など

既存の施設の有効活用

学生の負担軽減

# 教育ボランティア活動内容

## 学生考案の体験活動

- ・猿払村の良さを再発見できるような活動  
→小学生と学生による村内フィールドワーク



2015年8月 猿払マップ作りの様子

## 学習会

- ・小学生、中学生対象の学習会を実施  
→小学生には宿題の指導  
→中学生には進路講和や受験対策



2016年2月 中学生学習会の様子





# 子どもの変化

## 進路を変更した中学生

学生との交流をきっかけに、将来を考えるきっかけになった生徒も。

他地域への進学後、地元就職を目指す生徒。

## 小学生と大学生の交流

恒例になっている行事であるため、毎回の参加を楽しみにする児童や、別れの場面で涙する児童も。

# 学生の変化

## 猿払村の知名度の向上

学生が運営するイベントとして有名に。同時に学生間での猿払村の知名度が向上、田舎への関心の増加。

## 猿払村と大学のコネクションの構築

ボランティアへの参加で単位認定など、講義内のフィールドワークの場としての活用。





# Active Learning City Tsubetsu

## 中高一貫校の導入に関して

# 実現までのロードマップ

2016~2019 導入期

津別町と大学生の  
連携開始

- 大学生による学習会の実施
- ノウハウの蓄積
- 大学との関係性の構築



2019~2025 成長期

事業の大規模化  
大学との連携強化

- 一貫校設立の動きのPR
- 連携事業の選択肢の広がり



2025~ 成熟期

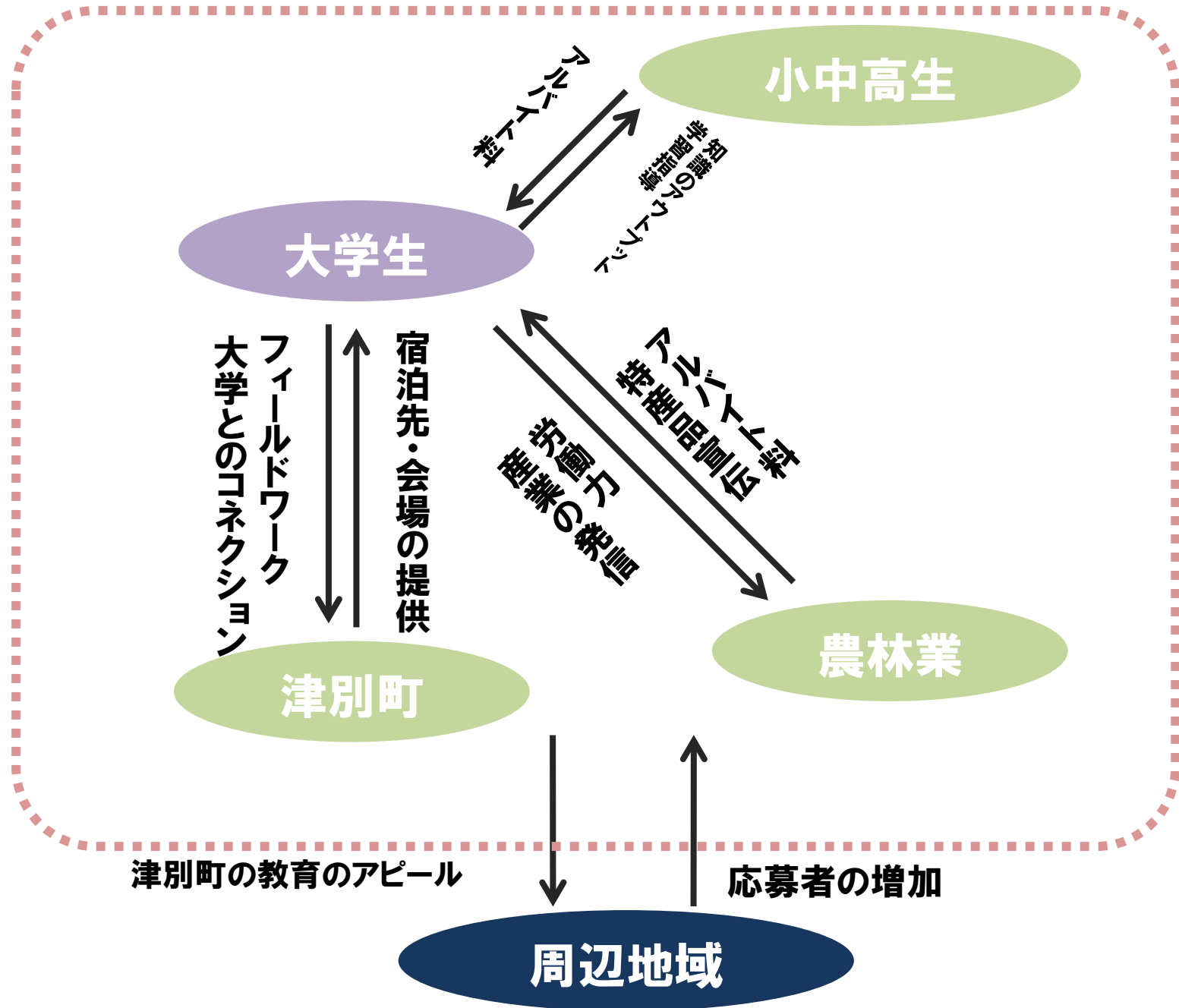
中高一貫校設立

- 現在の津別高校の校舎の改変
- 全道規模で生徒を募集

# 導入期・成長期の活動内容

- **農業・林業で大学生の短期アルバイト**
- **小中高生向けの夏・冬短期学習塾開設**
- **津別町を舞台としたフィールドワークの実施**





# どんな中高一貫校なのか？

- 全寮制→津別町内の空き家の活用
- 魅力的な4学科→導入・成長期のノウハウ活用

国際コース

ICTコース

農林業コース

マーケティングコース

- Active Learning、フィールドワークの多用  
→津別町の産業の担い手、発信の期待

# Active Learning City Tsubetsu

## 導入考察

## 津別町の知名度の向上

- 全国からの進学により、知名度向上
- 教育の町としてのブランド力の向上・発信  
→ 来訪者の増加、存在価値の上昇

## 町内産業の活性化

- 学校と産業の連携により、産業の発信が可能
- 若者の増加による跡継ぎ問題解消の可能性

## 町内環境の改善

- 若者の増加により、中心市街地の利用者の増加  
→ 空き店舗の減少、商店の増加が期待できる
- 通学のためのバス路線の設置

## 少子化への抑止力

- 町に留まる者、将来的に戻ってくる人が増加することにより、将来的な少子化の解消が期待できる



# 中高一貫校設立に向けて

中高一貫校は学校自体の教育だけではなく  
若者を集める特性を持っている

# まちおこしに貢献している学校は多い

- 国際教養大学
- 北海道三笠高校
- 北海道札幌国際情報高校
- 品川女子学院



ご清聴ありがとうございました。